

ご協力ありがとうございました

平成29年4月1日～平成29年9月30日
(敬称略・順不同)

寄付金

島田 勢子 前川 満枝
長島 恭子 まどか
国安 佐知

募金箱

第2みらい設置分



物品販売のご案内

下記物品は、月 1～2回の“なかまの店”当番日のほか、遠山(06-6855-3919)でも注文をお受けします。

商品名	販売単価	商品名	販売単価
静岡産煎茶(200g)	860円	すりごま(90g)	310円
静岡産煎茶(100g)	430円	三色もろこし(150g)	310円
万能茶(400g)	510円	おいしい飴各種	170円
発芽黒豆茶ティーパック(20袋)	710円		



いつも物品販売にご協力いただき、誠にありがとうございます。

平成29年4月1日～9月30日の上半期の販売利益は、112,923円ありました。

これも、皆さまのご協力の賜物と感謝しております。これからも皆さまと共に頑張っていますので、よろしく願います。素のままフェスタ・泉丘公民分館文化祭の出店は、両日とも雨が降っていましたが、とても好評でした。



豊中親和会後援会だより第31号
編集後記

今年度、原田ホーム・ショートステイが開所されました。ホームを利用されている方々は、少しずつ慣れて楽しく生活されているかと思えます。ショートステイ事業もできるだけ早く軌道に乗り、多くの方が利用できるよう願っています。

第1回の懇談会より、3年振りの開催となりましたが、吉田理事長にいろいろお話しをお聞きすることができました。様々な課題がありますが、解決していけるようお手伝いできればと思います。

皆さまのご協力をご支援をよろしくお願いいたします。

豊中親和会後援会役員一同

更新・入会のお願い

後援会賛助会員募集

賛助会員

個人年間 一口 3,000円
団体年間 一口 10,000円

寄付でのご協力も願います

申し込み先: 豊中親和会後援会

社会福祉法人豊中親和会内

(TEL 06-6868-9701)

郵便振替: 00970-2-176038

豊中親和会

後援会だより

発行者 豊中親和会後援会
住所 〒561-0881
豊中市中桜塚4-8-13
ミレ桜塚4F
社会福祉法人豊中親和会内
電話 06-6868-9701
FAX 06-6868-9702
頒価50円

社会福祉法人豊中親和会との懇談会報告

平成29年10月19日(木)10時30分より豊中市障害福祉センターひまわりにおいて、社会福祉法人豊中親和会と豊中親和会後援会との懇談会を開催いたしました。

ちょうど3年前の平成26年10月にも、星屋前理事長と吉田前常務理事のご出席のもとに懇談会を開催し、勉強させていただき、おかげさまでその後の3年間で、中・長期計画の策定をはじめ、新事業、その他法人事業も大きく進展してまいりました。

そして今回、その現状や今後の展開について私どもも勉強し、またお願いもさせていただく機会として吉田理事長にご出席願ひ、法人と後援会会員との懇談会(勉強会)を計画し、正会員29名と、前正会員で現在賛助会員4名の方が出席くださいました。

懇談会では吉田理事長よりざっくばらんに現状などを説明いただき、会員からも多くの質問がありましたが、紙面の都合上、要点のみ掲載させていただきました。

吉田理事長のお話

短期入所事業の運営について

当該事業は、開設に際して法人内部向けのパンフレットを作成し、8月28日付で周知し、事業内容についてご理解を深めていただくように努めてきました。

スタッフ配置が十分ではないため、現時点では各日中事業所職員の協力が不可欠となっている現状です。そのためご家族が遠慮され、登録者も少ない現状となっています。ご家族のニーズを明らかにするためにも、少なくとも登録はしていただきたいと思ひます。

各事業所の現状について

各事業所の共通点として、施設長ならびに主任等の異動があったため、それなりにギクシャクしているところもあると思ひますが、ラインの顔触れが変わったことで、違った視点から新たな創意や工夫がみられるのではないかと期待しています。

「みらい」では利用者の高齢化に伴う支援の見直し、「第2みらい」では漫然とした職員不足と支援スキルの向上、そして「支援センター」ではスタッフ体制の充実と短期入所施設の活用、ホームの施設整備などが主な課題となっています。

今後の事業計画について

中長期計画に沿って着実に具体化を進めることだと思ひます。具体的には、職員やご家族向け調査の実施、職員研修関連、第2みらいの大規模改修などを予定しています。

次ページに続く



吉田理事長のお話

その他

- 中長期計画に則って主に次のことを行ないました。
- ・大型グループホームの開設。
- ・10年が経過したことによる給食業者の見直し。検討の結果、契約を継続することになりました。
- ・法人制度改正による組織の変更。理事会に各事業所の施設長が理事として参加など。
- ・赤字部門である就労支援センターの撤退

出席者からの質問と回答

- Q. 短期入所全体の利用可能日(緊急利用以外)は、月に何日ぐらいですか？
また、利用する場合、各々が通っている事業所(みらい・第2みらい)の職員が支援に入るとのことですが、夜勤明けで次の日は休まれると思います。その時に職員が不足するのが心配です。パートの職員を雇うとか対策を考えていただけませんか？
- A. 利用したい人にまず登録していただき、希望者が多ければ施設側も考えていきますので、まずは登録してください。
- Q. 現在、赤字になっている部門はありますか？
- A. 相談事業は赤字となっておりますが、これは業務を市から受託する上で3人の職員を配置しなければならない為、やむを得ないことと考えています。
- Q. 第2みらいの職員不足が気になります。
- A. 常に求人広告は出しています。今後も法人として努力していきます。



懇談会での吉田理事長のお話から、障害者福祉制度も色々と見直され、法人運営も厳しいということが窺えました。しかしながら、豊中親和会ならではのきめ細かい支援が今後とも継続されますよう、後援会もしっかり応援していきたいと思っています。皆さまのご協力をよろしくお願いします。

原田ホーム入居者へのインタビュー

食事の後は自分の部屋でCDを聴いたり、NHKの気象情報をみたりしています。



みらいからホームに帰って週に1回、ガイドヘルパーさんと本を買いに出かけ、外食をします。今のブームは唐揚げとチャーハンです。



みらいに行かない日は、お部屋で勉強したり、ストレッチをしています。



ホームではどんな生活をされているのか？
お聞きしました

ホームは楽しいです。お部屋でテレビを見たり、本を読んだりしています。
みんな(支援員)が優しいし、月曜日にホームに行くのを楽しみにしています。



夕飯前にお風呂に入り、自分で洗濯をして、自分でお部屋に干して、乾いたらきちんとたたんで片付けます。
月1回、ホームからガイドヘルパーさんと本を買いに行き、お茶してホームに帰ります。

みらい文化祭

11月18日(土)

各事業発表



生活介護

♥ ペープサート

「なぜ海老の背中曲がっているのか？」

♥ 「エビカニクス」 を披露しました。



就労継続支援B型

♥ 「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました。

♥ 「阿波踊り」
(一泊旅行の淡路島で覚えました)



家族会による物品販売と喫茶



★原田公民分館展示会★ 12月2日(土)～3日(日)

みらい・第2みらいの自主製品を出展。
両事業所を地域の皆さんに知っていただくことができました。

